

記録表 発行日	2019年12月20日	検印
注番	U -	

アスファルトフィニッシャー CJ受入31項目検品表


中京重機株式会社
 ☎ 465-0057 愛知県名古屋市長区陸前町1705
 サービス部 フィールドサービスグループ
 TEL : 052-701-5191 / Fax : 052-701-5193

メーカー名	住友	型式	HA45W-5	機械所有者	様			
製造(シリアル)番号	A45A1-0218	アワメーター	8874Hr	検査年月日	2019年12月17日(火)			
エンジン型式	V3800	検査者名	安藤	検査実施場所	本社内 日進ヤード ()			
エンジンシリアル	1708	特自検	特自検ステッカー 有 <input type="radio"/> 無 / 点検日 年 月 / 点検者					
区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	評価	備考		
エンジン	1	本体	a. 始動/停止性	かかり具合、異音、予熱栓・ヒーターの作動、ソレノイド	目視 or 操作 or 聴診	A B C D E		
			b. 回転の状態	アクセルの作動、回転具合		A B C D E		
			c. 排気の状態	排気色、排気音、吹き返し、マフラー外観の欠陥によるガス漏れなど		A B C D E		
			d. ブローバイガス	漏れ具合、漏出量		A B C D E		
			e. エアークリーナー	ケースの亀裂、変形、エレメントの汚れ、損傷		A B C D E		
			f. 過給機(ターボ)	異常振動、ガス漏れ、潤滑油漏れ		A B C D E		
			g. エンジン圧縮	エンジン内部コンプレッション圧計測		測定器を使用して 測定	A B C D E	Mpa
			h. 背圧	ブローバイ量の計測		測定器を使用して 計測	A B C D E	0.8L/min
	2	潤滑装置	油量 汚れ、白濁、油漏れ、エレメントの汚れ(滲み)、損傷	目視	A B C D E	ゲージ		
	3	燃料装置	燃料滲み漏れ、詰まり	目視 or 触診	A B C D E			
	4	燃料タンク	ドレンコックから水抜き実行、タンク内汚れ推測	目視	A B C D E			
	5	燃料油種	軽油 ・ 灯油 ・ A重油 ・ 茶灯油	目視 or 嗅診	A B C D E			
6	冷却装置	a. クーラント	水量 濃度、汚れ (サブタンク水量: 満・中・少・無)	目視 or 触診	A B C D E	クーラント濃度-12%		
		b. 水漏れ	ウォーターホース、ドレンバルブ、キャップ機能チェック		A B C D E			
		c. ラジエータ	外側コア(フィン)の目詰まり、汚れ、凹み、水漏れ		A B C D E			
		d. オイルクーラー	外側コア(フィン)の目詰まり、汚れ、凹み、オイル漏れ		A B C D E			
		e. ベルト/ウォーターポンプ	たわみ、(摩耗) 損傷、ガタの有無と程度		A B C D E			
		f. 水温計	正常(適温)表示		A B C D E			
		g. その他	ファンカバーやダクトの亀裂有無・損傷及び変形など		A B C D E			
7	電気装置	オルタネータ機能、バッテリー液量、ターミナル緩み、腐食 搭載バッテリー型式 ⇒ [8020-255]	目視 or 触診 or 電圧計 目視	A B C D E	電圧 約26.38V(ボルト)			
走行装置	8	走行コントロール	前後発進停止、左右操舵	操作	A B C D E			
	9	起動輪 ・ 遊動輪	クラック、変形、摩耗、異音、異常発熱、取付ガタ、油漏れ	目視 or 触診 or 聴診 or 探傷計	A B C D E			
	10	上部ローラー ・ 下部ローラー	クラック、変形、摩耗、異音、異常発熱、取付ガタ	目視 or 触診	A B C D E			
	11	タイヤ/履帯	タイヤ	欠け、摩耗、亀裂傷、損傷、他	目視 or 触診	A B C D E		
			PAD	欠け、クラック、変形、摩耗、リンク・ブッシュクラック/欠け、ピッチ伸び、たわみ、固着				
12	走行減速機	油量、異音、異常発熱、ケースクラック、損傷、油漏れ※減速機の油量チェックは必須の事	目視 or 聴診 or 触診	A B C D E				
作業装置	13	スクリード	伸縮作動状況など	目視 & 操作	A B C D E			
	14	スクリュウ	正転反転作動状況、スピードコントロール状況	目視 & 操作	A B C D E			
	15	パーナー	圧カメータの作動状況、点火状況など	目視 & 操作	A B C D E			
	16	アイロン	アイロン面の(深)傷有無	目視	A B C D E			
	17	パイプブレーター/タンパー	作動状況、油漏れの状態など	操作	A B C D E			
	18	各種センサー	作動状況など	目視 & 操作	A B C D E			
	19	ホッパーチェーン	弛み、摩耗、スプロケットの状態など	目視 & 操作	A B C D E			
	20	フィーダー	フィーダーバーの摩耗、フィーダー底板の摩耗有無	目視 or 操作	A B C D E			
	油圧装置	21	作動油タンク	残油量 (適量 ・ 中 ・ 少 ・ 無)、ゲージの汚れ	目視	A B C D E		
22		配管類(高・低圧油圧ホース・パイプ)	クラック/亀裂、劣化、損傷、ひび割れ、油漏れ、ブラケット/ボルト	目視	A B C D E			
23		油圧メインポンプ/コントロールバルブ	スクリード昇降シリンダ部	自然沈下、油漏れ(滲み)、伸縮不良、サビ、傷、曲がり	目視 or 操作	A B C D E		
			スクリード伸縮シリンダ部	自然沈下、油漏れ(滲み)、伸縮不良、サビ、傷、曲がり	目視 or 操作	A B C D E		
			ホッパー開閉シリンダ部	自然沈下、油漏れ(滲み)、伸縮不良、サビ、傷、曲がり	目視 or 操作	A B C D E		
			ステアリングシリンダ部	自然沈下、油漏れ(滲み)、伸縮不良、サビ、傷、曲がり	目視 or 操作	A B C D E		
	()シリンダ部		自然沈下、油漏れ(滲み)、伸縮不良、サビ、傷、曲がり	目視 or 操作	A B C D E			

区分	No.	検査箇所	検査内容	検査方法	評価	備考
安全装置・車体関係等	25	座席(調整機構、座面、背もたれ)	座席調整、ロック作動、取付ガタ、損傷、穴あき	目視 or 操作	A B C (D) E	
	26	灯火装置、警報器、方向指示器、ワイパー	作動状態、取付ガタ、レンズ破損、浸水	目視 or 操作	A (B) C D E	
	27	計器類	作動状態、取付ガタ、レンズ破損	目視 or 操作	A (B) C D E	
	28	セキュリティ [有 ・ 無]	イモビライザー、電子Key、隠しスイッチ、パスワードなど	操作	有 無	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	29	反射鏡、後写鏡	汚れ、損傷、破損	目視	A (B) C D E	
	30	給油脂	給油脂状態、自動給脂装置作動	目視 or 操作	A (B) C D E	
	31	レバー、ペダル	効き、操作、変形、損傷、はずれ	目視 or 操作	A B (C) D E	
実機機械状態から具体的な検査結果報告(特記事項がなければ未記入で可)を記載の事						
No. 1	b. エンジン回転計(エンジン取付部)油漏れ有り、エンジンオイル給油部油漏れ有り e. エアークリーナーケース取付部損傷					
No. 2	エンジンオイル量が少量					
No. 3						
No. 4						
No. 5	a. クーラントサブタンク水量(小) c. ラジエーター目詰まり(小) e. ファンベルト摩耗(大)					
No. 6						
No. 7						
No. 8						
No. 9						
No. 10						
No. 11	タイヤに欠け・亀裂有り、右ホイール損傷					
No. 12						
No. 13	シリンダーオイル漏れ×2、動作左右で不揃い、スクリュウ駆動チェーンオイル水混入					
No. 14						
No. 15						
No. 16						
No. 17						
No. 18						
No. 19						
No. 20						
No. 21	作動油量が少量					
No. 22						
No. 23						
No. 24						
No. 25	座席シートに穴開き有り					
No. 26						
No. 27						
No. 28						
No. 29						
No. 30						
No. 31						
備考	1. 検査方法欄に実施した内容を○で囲み、5段階評価の中で該当する程度・状態を○で囲む。 2. 検査結果に異常があった場合には、右頁の該当番号欄へ具体的な不具合結果を記入の事。					
概要評価基準			個別評価基準(残存率による評価の場合は%を参照)			
A: 新品に近く非常に良好な状態の場合			A: 新品に近く非常に良好な状態の場合 / 100~90%			
B: 摩耗・損傷が少なく良好な状態の場合			B: 摩耗・損傷が少なく良好な状態の場合 / 90~70%			
C: 稼働時間相当の摩耗・損傷があるが、継続使用が可能な状態の場合			C: 稼働時間相当の摩耗・損傷があるが、継続使用が可能な状態の場合 / 70~40%			
D: 稼働はするが修理が必要な状態の場合			D: 稼働はするが修理が必要な状態の場合 / 40~20%			
E: 即修理をしないと稼働しない状態の場合			E: 即修理をしないと稼働しない状態の場合 / 20~0%			